

2025年度 事業報告書

2025年6月1日から2026年5月31日まで

特定非営利活動法人 チャリティーサンタ

1 事業の成果

2025年度を振り返って ～社会にある資本をコーディネートし、支援が必要な人へ届ける～

チャリティーサンタでは「子ども達に愛された記憶を残す」というミッションのもと、経済的な事情などで起きる思い出格差支援を行っています。子ども時代というのは限られており、子ども時代の体験・思い出格差は政策的支援が届きにくい分野であるからこそ、企業・市民の力を集めることが重要だと考えています。

2025年度は認定NPOとなって一期目の事業年度でした。前年度末(2025年4月)に新規人材を3名迎え組織基盤を整えることに注力しました。なかでも認定NPOとして初めて取り組んだ寄附金受領書の発行は外部業務委託の力も借りながら滞りなく進めることができ、次年度の改善に向けて日々取り組んでいます。一方で赤字構造が続いていた海外事業SMDの事業撤退も決断し、創設以来続いた海外途上国支援事業に区切りをつけました。

(1)ブックサンタ2025:12万冊超の寄付と10年目への歩み

2025年度のブックサンタは、目標の10万冊を大きく超える121,861冊の寄付が集まりました。書店の閉店が続く厳しい業界状況の中、新規参加店が増加したほか、書店限定の「活動応援しおり」が約9,000枚購入されるなど、支援の輪は着実に広がっています。また、直木賞作家の今村翔吾氏が発起人となった「作家サンタ」には総勢48名の作家が賛同し、子どもたちへ本を贈る魅力をそれぞれの言葉で発信しました。本プロジェクトは国際的な「Golden Pin Design Award」や国内の「岩佐賞」を受賞するなど、国内外で高い評価を得ています。寄付された本はクリスマスだけでなく、年間を通じて誕生日の子どもたち一人ひとりに届けられています。2026年には活動10年目の節目を迎え、さらなる支援の質の向上を目指しています。

(2)シェアケーキ:物価高騰に立ち向かう「おめでとう」の循環

経済的な理由で誕生日の祝いが難しい家庭へホールケーキを届ける「シェアケーキ」は、物価高騰の影響で申し込みが前年比1.7倍に急増しました。この需要に応え支援を継続するため、苦渋の決断としてケーキのサイズを15cmから12cmへ見直しましたが、変わらず多くの子どもたちに「主役になれる時間」を届けています。2025年には、村上信五氏、清塚信也氏、ヒャダイン氏らが無償で制作したチャリティーソング「生まれてくれてありがとう」をリリースし、収益を活動資金に充てる新たな仕組みを開始しました。クラウドファンディングでは合計約800万円の寄付が集まり、新たに女優の鶴田真由氏も賛同者に加わるなど、著名人と寄付者が一体となった支援体制が育っています。保護者からは「社会から独りじゃないと手を差し伸べられた」といった安堵の声が寄せられています。

(3)体験の支援:シェアシネマと新入学応援の広がり

「愛された記憶を残す」というミッションのもと、本やケーキ以外の体験支援も拡大しています。「シェアシネマ」では、2026年春に親子約5,000名へ映画鑑賞体験を提供しました。イオンシネマ全国98館での活動紹介や東映との連携により、経済的理由で映画を諦めていた家庭に「自宅では得られない感動」を届けています。また、横浜高島屋との連携による「入学応援企画」では、新小学1年生86名へ名入れの筆箱と鉛筆セットを贈りました。寄付者が色を選びメッセージを添えるこのギフトは、子どもたちが「自分だけの特別なもの」に涙を流して喜ぶほどの感動を呼んでいます。その他の事業でも子ども達の体験格差を解消する多角的な支援が進んだ一年となりました。

2 事業の実施に関する事項

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数
チャリティーイベントに関する企画運営事業	クリスマスイブにサンタクロースが訪問するチャリティー企画を運営実施	(準備) 通年 (本番) 12月24日	全国30都道府県42地域	約500名	子どもを持つ一般家庭・子育てサークルなど (有償の一般世帯を対象)	訪問家庭数: 1,416世帯 訪問児童数: 6,806名 ※施設なども含む ボランティア数: 1468名
子どもを持つ困窮家庭に対する体験支援の企画運営事業	チャリティーサンタが企画運営する事業に於いて、子どもを持つ困窮家庭は原則無償とする取組 (通称: ルドルフ基金事業)	通年	全国	10名	子どもを持つ困窮家庭	支援人数: 83,936人
チャリティーグッズに関する企画運営事業	・サンタクロースから手紙が届くチャリティーグッズ販売 ・ネパールで作ったフェルトマスコット販売	通年	ネパール、および日本全国	10名	グッズ購入者	購入者: 505名
子どもの体験活動支援事業	子ども達に向けての体験イベントの企画運営	通年	湘南・香川・大分・宮崎他	約50名	子育て世帯の子どもと保護者	約100名
スタディーツアー事業	実施なし	—	—	—	—	—
市民の社会参画の機会提供及び推進を図るための企画運営事業	ボランティア参加や社会参加を促すための講演会の開催等	通年	全国	2名	ボランティアやCSR活動に関心がある一般市民	受講者: 約350名
調査研究、情報収集、情報提供及び啓発事業	岡山親子応援メールの運営	通年・毎週	岡山	3名	子どもを持つ困窮家庭	対象者: 約2900世帯